

# 「教養」を力に、社会に貢献する。 天理大学の新カリキュラム

天理大学では、再編後の新カリキュラムにおいて「教養の涵養」を大切にしています。総合教育科目と学科における専門科目との連携を強めることで、学生の「専門性と社会人基礎力」を同時に育み、社会に貢献していくための基盤を築きます。また、各学科ではめざせる将来像を明確にしながら学ぶための「履修モデル・資格モデル」を用意しています。さらに充実した国際プログラムや課外活動の機会を通じ、国内外の地域で学びを実践することができます。



# 学部・学科 INDEX

\*各学科ページの「学びを未来に活かす履修モデル・資格モデル」では、モデル名を以下のように分類しています。

- ・履修モデル：特定のキャリアをめざすために推奨されるカリキュラム・モデル
- ・資格モデル：資格を取るためにカリキュラム・モデル
- ・プログラム：天理大学が認定証を発行するプログラム（構想中）

学部・学びの方針	学科	学びのポイント	頁
<b>人文学部</b> 多種多様な文化財や史跡に囲まれた立地と、附属天理図書館・附属天理参考館の豊富な文献・資料を活用しながら学び、長年の実績と信頼を基礎に、教養を力に地域社会を支え共創できる人材をめざします。	宗教学科 国文学国語学科 歴史文化学科 心理学科 社会教育学科 社会福祉学科	1. 「実践性」と「現代性」を重視 2. 3つの履修モデルで将来像を明確化 3. 「おぢば」で学ぶ貴重な4年間 1. 教員をめざす学生の充実サポート 2. 多様な進路に対応した履修モデル 3. 輪講など課外演習、図書館施設も充実 1. 「ほんもの」の文化財に触れて学ぶ 2. 将来を見据えた各履修モデル 3. キャンパス内外に広がる学びのフィールド 1. 少人数制による親身な指導 2. 心理学の学びを活かして活躍する 3. 現場での支援活動で実践的に学ぶ 1. 「社会教育」を支える 2. めざす将来像に沿ったプログラム 3. キャンバスを飛び出して学ぶ 1. 社会福祉のプロをめざす 2. 国家試験で高い合格率を達成 3. 現場で対人援助職に必要な力を養う	P.44 P.46 P.48 P.50 P.52 P.54
<b>国際学部</b> 国際教育の伝統を受け継ぎながら、変化し続ける世界で活躍できる国際人を育成。グローバルな視点で見つけた課題を各地で実践できる「グローカル」な人材像が目標です。	韓国・朝鮮語学科 中国語学科 英米語学科 外国語学科 国際文化学科 日本学科 (留学生対象)	1. 語学力+幅広い専門性を身につける 2. 海外語学実習や留学機会も充実 3. 将来を見据えた履修モデル 1. ICTを駆使して効率的に楽しく学ぶ 2. 日本→台湾を学べる大学 3. 中国語ボランティアで地域貢献 1. オーラルコミュニケーション重視 2. 海外で学べるチャンスが充実 3. 卒業後の進路を意識した履修モデル グローバル化時代に需要の高まる7言語(タイ語・インドネシア語・ドイツ語・フランス語・ロシア語・スペイン語・ブラジルポルトガル語)から希望する1つの言語を選択して学びます。 1. 共生社会を支える 2. 「やさしい日本語」を学ぶ 3. 学びを未来に活かすプログラム 1. 日本語と日本文化の知識を深める 2. 各レベルに対応した日本語クラス 3. 卒業後を意識したカリキュラム	P.58 P.60 P.62 P.64 P.66 P.68
<b>体育学部</b> 世界に誇る競技者や指導者を輩出してきた伝統を継承しながら、体育・スポーツの喜びを広く伝え、社会の指導的立場に立てる力とグローバルな視野を育成します。	体育学科	競技スポーツコース 「めざす」競技力の向上を追究する スポーツ教育コース 「はぐくむ」優れた指導者をめざす スポーツ文化コース 「つくる」スポーツで交流を生み出す 健康スポーツコース 「ささえる」健やかな暮らしに貢献する 武道コース 「きわめる」伝統文化の担い手をめざす	P.72
<b>医療学部</b> 「人に尽くすことを自らのよろこびとする」という天理医療大学の教育理念を引き継ぎ、高い専門性と倫理観を具えた医療人を輩出し、地域社会に貢献する力を養います。	看護学科 臨床検査学科	1. 知識・実践能力・ケアの心を育む 2. 天理よろづ相談所病院での臨地実習 3. 9割が天理よろづ相談所病院に就職 1. ニーズの高まる「臨床検査技師」に 2. 臨地実習で、チーム医療を学ぶ 3. 卒業研究指導で、即戦力として成長	P.76 P.78

2024年4月に改組予定の新学部・学科の情報になります。

\*2023年4月現在設置構想中。学部学科名称は仮称であり、計画内容は変更となる可能性があります。

# 医療学部

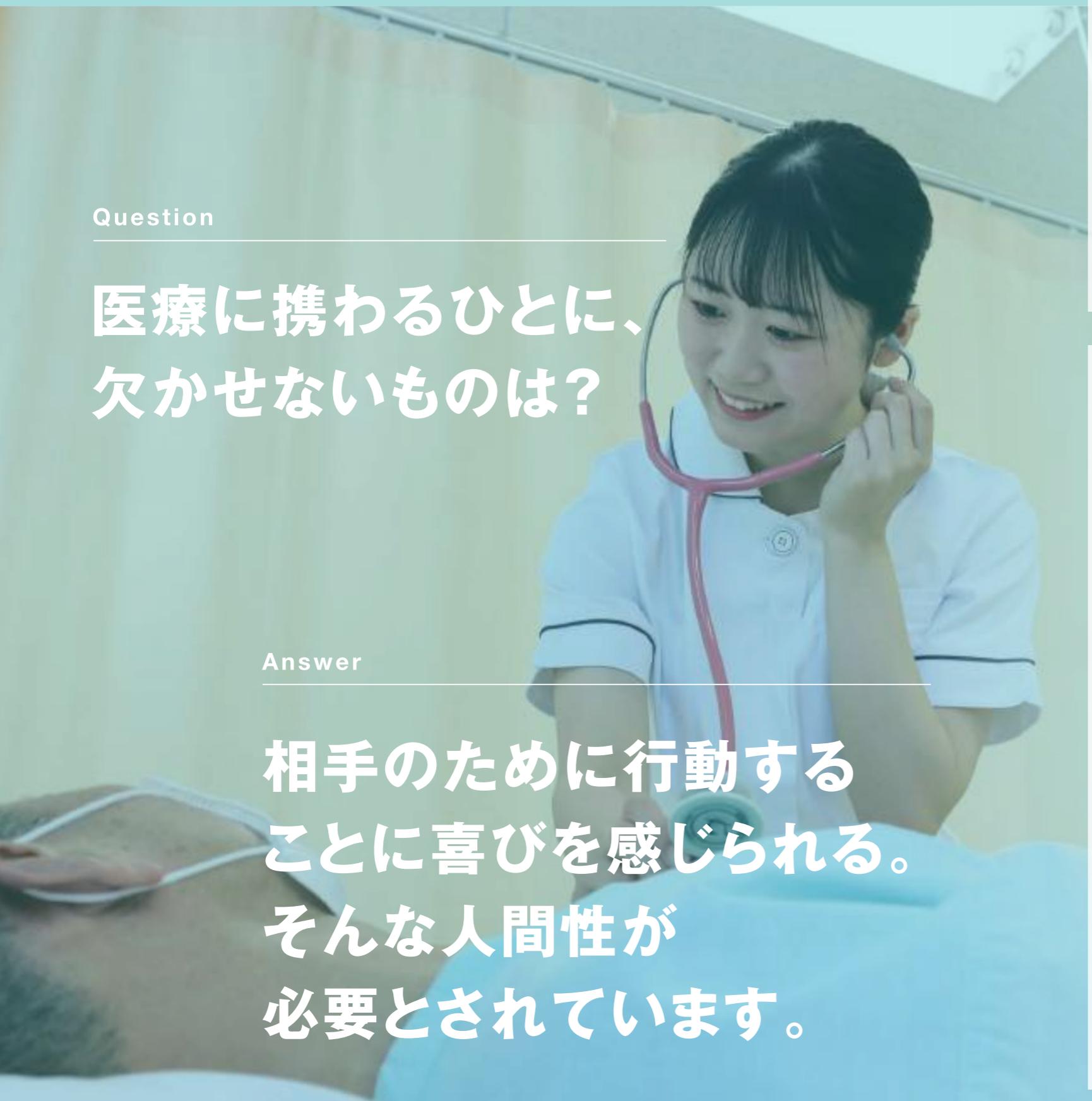
看護学科／臨床検査学科

## Question

医療に携わるひとに、  
欠かせないものは？

## Answer

相手のために行動することに喜びを感じられる。  
そんな人間性が必要とされています。



## 学びのポイント

### 1. 先進医療機関で全人的医療を学ぶ

本学部は天理医療大学の時から天理よろづ相談所病院との連携による実践教育を実施しています。先進医療の設備を持つ病院での実習を通じ、全人的医療とチーム医療を学びます。実習先が別所キャンパスに隣接している点も魅力です。



### 2. 「人に尽くすことを自らのよろこびとする」

本学部は「人に尽くすことを自らのよろこびとする」という天理医療大学の理念を受け継いでいます。医療人に求められる人間性や倫理観の養成に力を入れており、コミュニケーション演習など、対人能力を磨く科目も多数用意しています。



### 3. 学生の約70%が活用する奨学金制度

公益財団法人天理よろづ相談所病院による独自の貸与金を用意しています。この貸与金は本学を卒業後、直ちに看護師または臨床検査技師として天理よろづ相談所病院に規程の期間を勤務した場合に限り申請により返還が全額免除されます。

※国の給付型奨学金とも併用可能



## 学びのヒント

学部の学びのヒントになる引用、キーワードを紹介します。

人に喜んでもらえる喜びは、私たち自身の生きるエネルギーへと転化されていきます。

—ヴィクトール・フランクル(心理学者)

他人のために尽くす人生こそ、価値ある人生だ。

—アルベルト・aignシュタイン(物理学者)

病人の気持ち、その家族の気持ちがわからぬようなら、どんな医学者でも医者じやがない。

—遠藤周作(作家)

人の苦しみをやわらげてあげられる限り、生きている意味はある。

—ヘレン・ケラー(作家・社会福祉活動家)

私は少しも恐れるところがない。私はこの世界に、何事かをなさんがために生まれてきたのだ。

—野口英世(医師・細菌学者)

見たいと思う世界の変化にあなた自身がなりなさい。

—マハトマ・ガンジー(宗教家・政治指導者)

看護を行う私たちは、人間とは何か、人はいかに生きるかをいつも問いただし、研究を積んでいく必要がある。

—フローレンス・ナイチンゲール(看護師)

科学の方法論の重要な特徴は「観察と実験」からなることである。

—アンリ・ポアンカレ(数学者)

人類に福祉を与えてこそ学者の本分をつくすもので、真にこれが学者の任務である。

—ロベルト・コッホ(医師・細菌学者)



